

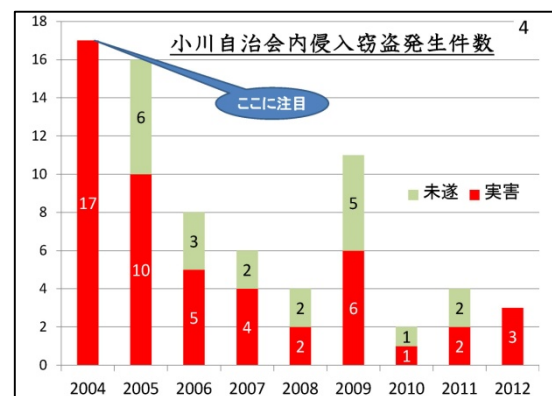
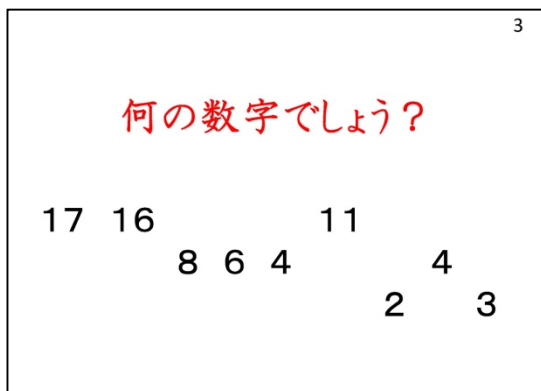
小川自治会防犯パトロール隊（東京都）

皆さん、こんにちは。



地域紹介

最初に数字をご覧ください。17とか2とか、アトランダムにいろんな数字がありますが、これ何だかお分かりでしょうか。実はこれ、私ども小川自治会内における過去5年間の侵入窃盗、いわゆる空き巣の発生件数です。2004年にご注目ください。自治会が把握しているだけでも17件の空き巣の実害がありました。把握していない件数、あるいは未遂を入れますと20数件あるいは30件ぐらいの数字になると思います。



犯罪がこのように多発したことともう一つ、某週刊誌で「東京犯罪多発街ランキング」という特集がありました。この中で都内住宅地の犯罪件数ワースト200とありまして、なんと1位から4位までを、私どもの小川ではないのですが町田市の別の町が独占していたのです。それから車上ねらい、自動車盗などもやはりワースト1位から4位を町田市内の別の町が独占していました。それからもう一つ、住宅地の空き巣、忍込みなどのワースト10、これはトップではないのですがワースト10までの中で4位までが町田市の別の町になっていました。

団体の概要

そういうことで住民の不安が非常に高まりまして、なんとかしてくれということが自治会にもあり、なんとかしようということで、準備期間を含めて半年間の検討期間を設け、2005年4月にパトロール隊を発足させました。全自治会員にアンケート形式で応募を求めたところ、実に350名の方が応募されました。当時の自治会は、約1,000世帯ですから3割の方がパトロール隊に参加しています。

これは心理的に言いますと、おもしろいもので、何も犯罪がなかったらこれだけの人が応募してこ

なかったと思うのです。逆にこういう危機感を持たれたので多くの方に参加していただきました。その結果、先ほどのグラフにあったように犯罪が大幅に減少しました。



小川自治会の防犯活動

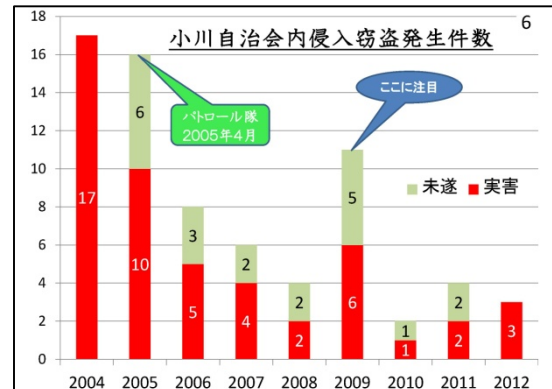
経緯

2004年 侵入窃盗頻発、また同年某週刊誌の「犯罪の多い地域特集」に町田市小川が載ったため住民の不安が増大 ⇒ 防犯対策として2005年4月パトロール隊発足(初期隊員約350名)



犯罪抑止に多大の効果があった

しかし



しかし今度はこちらにご注目ください。せっかく大幅に減ってきたのが、2009年にまたドーンと増えました。2009年というのはご存じのようにリーマン不況で全国的にも犯罪が増えた年です。ただ、私も小川自治会ではそれ以上に高い比率で増えました。一方パトロール隊も4年たちまして、高齢化などによってやめる方も出てきましたので隊員が少しずつ減ってきました。



小川自治会の防犯活動

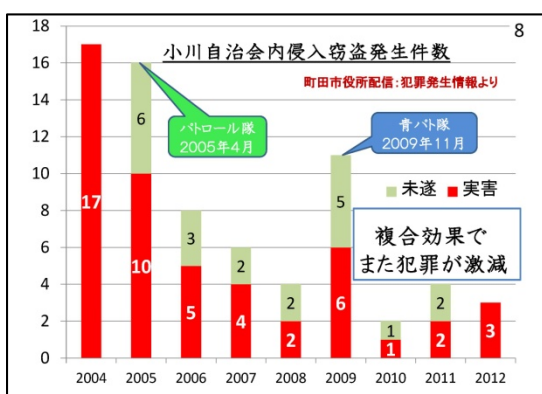
2009年、リーマンショックの影響による犯罪の増加一方病気、高齢化などによる隊員の減少により、パトロール活動を補完・補強する手段が必要



2009年11月
青パト隊発足
(初期隊員22名)

活動内容紹介

そうすることで、それまでの歩くパトロールを補完・補強する手段が必要だろうということで、検討は1年半ぐらい前からしていたのですが、コストの問題、運用の問題等でなかなか踏み切れずにいた青パト隊を2009年11月に初期隊員22名でスタートさせました。



その結果、このグラフで見ていただけるように、青パト隊発足以降、複合効果で大幅に犯罪が減少しています。このグラフをお見せしますと、まるでつくったようなグラフだと言う方がいらっしゃいます。確かにパトロールの効果がこんなに顕著に出ているというのは、小川自治会という非常に限定された範囲ですが、意味があったことだと思います。この犯罪発生件数は、2004年は我々自治会の推定ですが、2005年以降は町田市役所が毎週メール配信している「犯罪発生情報」から

取っています。町田市役所はそのニュースソースを町田警察署からもらっていますから、警視庁発表の数字で非常に正確なものとなっています。

それでは私どもの小川自治会について簡単に説明します。東京都の地図を見ていただきますと、西南のところでポコンと神奈川県の中へ飛び出しているところがあります。これが私どもが住んでいる

町田市です。三方を川崎市、横浜市、相模原市という神奈川県政令指定都市に囲まれています。

これは地理の説明ではございません。何を意味しているかと言いますと、三方を他県に囲まれていると警察の管轄も違うわけです。よく警察の管轄が違うところに近い場所には犯罪が発生しやすいと言いますが、他県境に位置するという事は犯罪が発生しやすい一つの要因であると言えます。

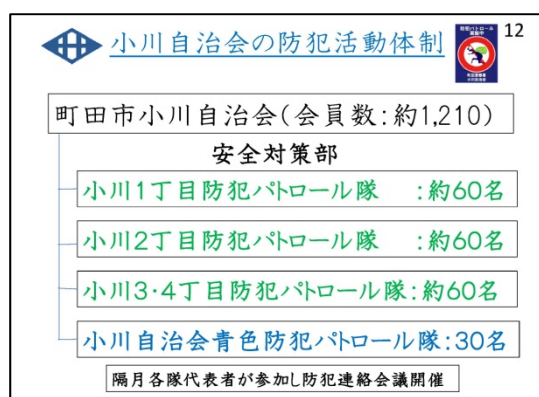
もう一つの特徴としては、私どもの小川は町田市のさらに南のほう、盲腸のさらに先っぽにありまして、近くを東名高速道路、国道16号線、246号線という主要幹線道路がたくさん走っています。これもやはり車で逃げやすいということで犯罪が発生しやすい要因になっています。こういうところに小川自治会があります。



町田市内には自治会・町内会が約300あります。それから南地区だけで40いくつあります。私どもの小川自治会はその中の1つです。主に1丁目から4丁目までを区域にしておりまして、会員数が約1,210。加入率は推定ですが70%弱ですから、加入していない方を含めると約1,700世帯ぐらい、人口にしますと4,000人ぐらいです。

43年前に自治会を発足させたときは、会員数はわずか62でした。それが1,200まで増え、典型的な造成住宅街で、だいたい30年から40年前に入居した人が多いということで高齢化が非常に急速に進んでいます。

比較的規模の大きな自治会ですから専門部制を取っています。総務部とか環境部とか、防災対策部、渉外等がありますが、防犯に関しては安全対策部が担当しています。



ただし安全対策部はいわゆる本部機構の参謀本部で、実働部隊としては、3つの歩くパトロール隊が別組織としてあります。それぞれの実働は現在、各50名前後ですから3つを足すと現在150名です。最初にパトロール隊を発足させたときは350名と説明しましたから、隊員数はすでに半分以下になっ

ています。

それから4年前にスタートさせた青パト隊が現在30人ですが、20人は歩くパトロールと兼任ですから実質は150+10ぐらいで防犯活動をやっています。それぞれが独立した部隊ですので、隔月に各隊の責任者が集まってコミュニケーションを図ったり、共同でいろいろ実施する項目を決めたりして活動しております。

具体的にどういう活動をしているかということで、若干各隊で違うのですが、同じような活動をしているので2丁目パトロール隊を例にご説明します。

組織としては2丁目を担当していて約60名。隊長、副隊長がいて現在、午前のグループ、午後のグループ、夜間のグループと9つのグループに分かれています。各グループは毎週1回、約1時間を掛けてマイクで防犯を呼び掛けながら2丁目の中を歩いています。複数のグループにまたがっている人もいます。一番多い人は週に3回ぐらい歩いていますが、週1回ぐらい歩いている人がほとんどです。月平均のパトロール回数が33回、延べ人数が1カ月で約200人という活動です。

コミュニケーションは、隊長の熱意が自然に伝わっていますので、特に定例的な会議を持たなくても皆さん十分にコミュニケーションが取れています。年に1回だけ懇親会を大々的にやります。半数以上の方が集まって、そこでは大いに盛り上がっています。

活動費は自治会のほうから補助して年間20万円強です。いろんな資料を作成したり、防犯灯の電池だとか消耗品の購入、懇親会の費用、それから真夏は熱中症にかかるといけませんので冷たい水を配るなどの費用に使っています。

防犯パトロール隊ですから当然防犯が主目的なのですが意外な効果があります。中には週に3回歩いていたら血糖値が大幅に下がって健康になったとか、ほかにも健康のために参加しているという方がいらっしゃいます。それから話している途中で趣味が合って、観劇に出掛けたり、カラオケを歌いに行ったりと、地域のコミュニケーションにも非常に役に立っています。問題は高齢化が進んで隊員が半数になっているということです。



小川自治会の防犯活動体制(2)

13

2丁目隊の運営例

組織

- ・隊長 副隊長X3、隊員＝約60名
- ・グループ：午前2、午後5、夜間2
- ・各グループにリーダーがいる
- ・各グループ 毎週1回パトロール
- ・約1時間かけマイクで防犯呼びかけ
- ・2丁目内をパトロール
- ・月平均パトロール：約33回、200人

コミュニケーション

- ・特に定例会議は設けない
- ・懇親会：年1回 半数強が参加



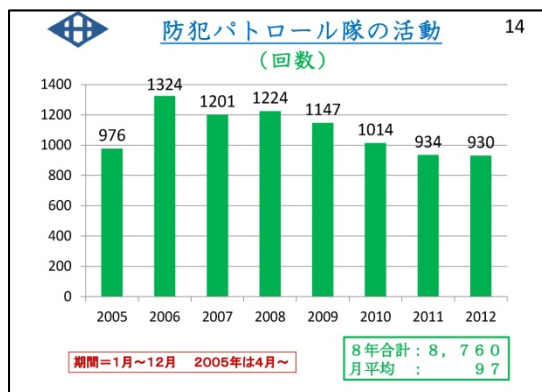
活動費

- ・自治会から支給(年間約20万円)
- ・主な支出項目：防犯資料印刷
- ・防犯灯・電池など消耗品補給
- ・懇親会、真夏の冷たい飲み物

防犯以外の効果

- ・健康のため参加している
- ・趣味が合い観劇・カラオケなどに一緒に出かける

問題 高齢化などにより隊員が毎年減少(設立時の半数)



このような活動をしているのですが、全体ではどのくらいの回数をやっているのかと言いますと、歩くパトロール隊の回数を見ると、2005年は4月スタートで、一番多かった2006年は年間1,324回。それがだんだん回数が減ってきて、一昨年は1,000回を割り込みました。だいたい一番多かったときの70%になっています。

一方、延べ人数は2006年に比べて目減りがもっと激しくて、昨年ではほぼ半減しています。ということは1

回当たりの参加人員が単純に、6.2から4.6に減っているということです。もう一つは、なんとか回数を減らさないようにということで、特定の人が数多く活動している。つまり負担が増しているとい

うことが言えると思います。

通常は歩くパトロールと青パトは、別々に活動しています。現在、隊員が30名で、目標は1日1回、つまり月平均30回なのですが若干下回っています。1人では危険ですので2名以上で1組になり、だいたい1時間で町内を1周するくらいで活動をしています。

時間帯としては、小学校がありますので、低学年の下校時にできるだけ合わせたり夕方です。車としては中古の軽自動車を買って、完全パトカー仕様です。

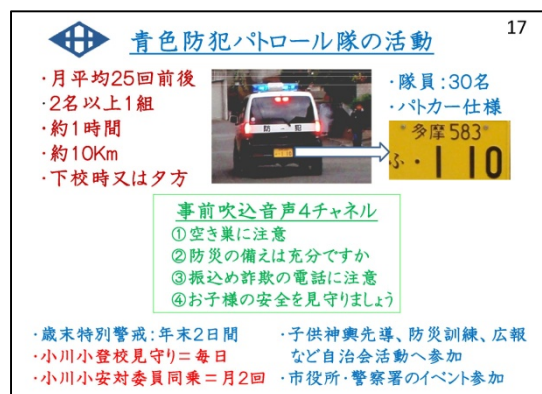
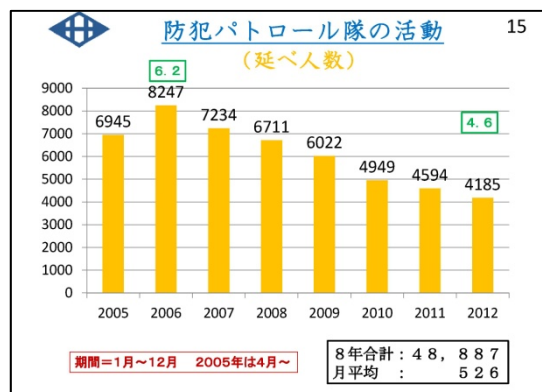
振り込め詐欺にご注意というアナウンスをしていますが、事前に吹き込める4つのチャンネルを使っています。最初は全部防犯だったのですが、3.11以来、防災にも力を入れていますので、1つのチャンネルは「防災の備えは十分ですか」という放送に替えています。

それ以外に自治会のいろんなイベントに参加したり、市役所や警察の防犯イベントに青パトで参加したりというようなことをやっています。それから小川小学校には安全対策委員というのがいるのですが、それとタイアップして登校の見守りを青パト隊員がやっています。また下校時は逆に、月に2回なのですが、安全対策委員に交代で青パトに乗っていただいて一緒に下校を見守るという活動をしています。

最初に青パトは歩くパトロールの補完・補強と言いました。我々も今回のためにグラフをつくるまで気が付かなかったのですが、歩くパトロールの回数は減っていますが青パトの回数を合わせてみると、2007年から見事に、数字的には年間1,200代の前半に行っています。そういうことで完全にいま補完・補強の関係になっています。

数字をぺらぺら言ってますが、いま月平均102回です。102と単純に言いますが、1日3.4回、我々は小川自治会のどこかで拍子木とかマイクを持ってパトロールをしています。

そういうことで活動をしておりまして、今年トピックスがいくつかあります。4月にパトロール回数が青パトも含めて累計1万回を達成しました。それから同じ4月に歩くパトロールの延べ人数が累計5万人を達成しました。それから1カ月前の3月に青パトの走行キロが1万キロを突破しました。以上が防犯パトロールの状況です。



19

**2013年4月 パトロール回数
累計1万回達成**

**2013年4月 歩くパトロール
延べ人数 累計5万人達成**

**2013年3月 青パト走行キロ
1万キロ突破**

20

小川自治会の防犯活動—その他

- ・防犯のぼり旗: 約120本 → 
- ・防犯ステッカー全家庭へ → 
- ・小川小学校と連携:
隊員による登校見守り(537回)
安対委員の青パト同乗(延106名)
- ・啓発・広報活動:
警察署・市役所などから講師を招き毎年防犯講習会開催
「自治会だより」、自治会HPへ毎月防犯情報記事掲載
掲示板防犯コーナー
- ・町内美化による防犯:
昼間のパトロール時にゴミを捨て歩く
隊員が市の違反広告物除却員に登録、除却
放置車両・自転車のグリーンアップ
- ・資源回収: 古紙・古布・空き缶の回収、収益を防犯活動に

防犯パトロール以外にもいろいろな活動をしています。全部お話しすると時間がないので代表的なものを2つ、3つご説明します。1つは防犯のぼり旗です。これを今月20数本増やしましたので150本弱。1,200世帯ですからだいたい10軒に1軒強、立てています。毎日立てますと効果がないので曜日を決めたりして出しておきます。

もう一つ、防犯ステッカー。こういうものを全家庭に配って見やすいところに出してもらっています。これは自治会の会員から公募してデザインを決めました。これをズラッと貼り出すだけでけっこう迫力があって好評です。

それ以外に、先ほど言いました小学校との連携とか、いろいろな広報・啓発活動。それからきれいなまちには犯罪が発生しにくいということで町内美化をずっとやっています。このような活動が評価されてか、過去5年ほどいろんな形で感謝状、表彰状をいただいています。そしてまた今回、このフォーラム全国大会へ参加して発表させていただく機会をいただきました。

21

小川自治会の防犯活動

防犯功労表彰受賞履歴

平成20年 町田市長
平成21年 町田警察署長・町田防犯協会長
平成22年 警視庁・東京都防犯協会連合会長
平成23年 町田警察署長・町田防犯協会長
同 全国防犯協会連合会長
平成24年 警視總監
平成25年 [防犯ボランティアフォーラム全国大会](#)



今後の課題

ここまで聞くと、うまくいってるじゃないかということなのですが、いろいろ問題はあります。まず再三言っているように高齢化によるボランティアの減少があります。これについては、やはり最初にほとんど入ってしまったので新しい人がなかなか入ってこないということで、ある程度やむを得ないかなということで、歩くパトロールから青パトを補完にしました。さらに青パトに全面的に移行して、歩くパトロールも9年目ですから、一応10年をめぐりにいまから検討していきます。

ほかに「人に頼らない防犯」ということで、のぼり旗をさらに追加するとか、いろいろなコスト面、セキュリティ面、あるいは全体でなければあまり効

22

小川自治会の防犯活動

現状の問題 → **今後の展開**

☆自治会員の高齢化
パトロール隊員の減少

☆お子様の安全確保
近隣地域で子供への犯罪増
交通安全

☆防犯→減犯→犯罪被害ゼロ
犯罪者がいやがって近寄らない街づくり

☆パトロール隊→(補充)青パト隊
→(移行)青パト隊(増強)

☆のぼり旗追加、防犯カメラなど
人に頼らない防犯
(コスト増、セキュリティ)

☆町内美化の徹底
きれいな街には犯罪者は
近寄らない

☆防犯→防犯+防災
総合的安全対策へ
他組織との連携強化




果がないということで見送っていますが、防犯カメラなども検討していかなければいけないということも考えています。

もう一つ、お子さまの安全確保なのですが、近隣自治会では単なる声掛け程度じゃない、もっと凶悪な犯罪が発生しています。それから全国的に通学途中に車が突っ込んだり、交通安全の面でも単なるけがでは済まないように大きな事故も起こっていますので、こういうあたりも強化しようかと考えています。

お子さまを取り巻く環境というのは実にいろいろな問題がありまして、いろんなところと連携していかなければいけません。

当然ながら我々の自治会として、地域として何をやるかと言ったらまず「犯罪の防止」、それから「交通安全」です。もう一つは「事故」と書きましたが、むしろ「環境整備」です。例えば公園の遊具が壊れてきましたとか、道路がガタガタなので自転車で転んじゃったとか、そういうことがないような環境整備です。このあたりが我々の責任、担当だろうということでもいろいろ考えています。

いろいろな表彰、感謝状をいただくのは大変なモチベーションになりますが、いままで発表された

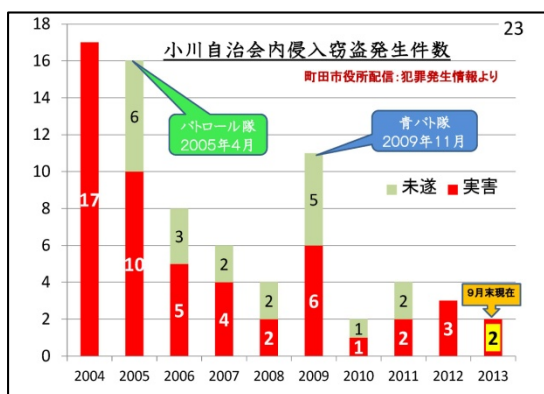


方がすべて同じようなことをおっしゃっていましたように、やはり最大のモチベーションはねぎらいの一言です。実際に活動を8年半やってきて、最初はそれこそ子供に声を掛けていたら変なおじさんと思われていたのが、いまは子供のほうから声を掛けてくれたり、「いつもパトロールご苦労さま」って言ってあめ玉を1つ差し入れてくれたりします。これがやはり最高のモチベーションになります。

これは高齢化がどんどん進んでいく中でも重要です。

それからいま防災にも力を入れています、防災活動も同じように連携、絆が非常に重要になってきますので、これが最大の効果であったと感じております。

そうなのですが、残念ながら今年になってもまだ、2件実害が発生しております。なんとか早く、犯罪者が絶対あそこは行きたくないというまちをつくってゼロにしてパトロールもやめたいというのが本音なのですが、そこまではなかなかいかないと思いますのでしばらくは続けていく所存です。ご清聴どうもありがとうございました。



小川自治会の防犯活動

東京都町田市 小川自治会

自治会長兼安全対策部長
長谷川 義剛

安全対策部副部長兼青ノ外隊隊長
林 紀史
(本日の説明者)

詳しくは自治会HPで
<http://www.ogawaik.co-site.jp/>

お問い合わせ、ご意見は
自治会へのメール 備へ

2013年10月作成
安全対策部

質疑応答



●質問 一つお聞きしたいのは、青パトを自治会で持っていていらっしゃるということですが、駐車場、ガソリン代、保険料についてご教授願います。

○回答 最初に青パトを採用するときに、先ほどちょっと見ていただきましたが、中古の軽自動車を買いました。当時として130万ぐらい掛かりました。これは幸い自治会に内部留保と言いますか、若干の貯金みたいなものがありましたので買わせてもらいました。

この後、運営経費としてはパソコン代とか保険料等々

で年間に10万ぐらいですか。プラス懇親会なんかもやりますので全体で20万前後掛かっていますが、これは自治会のほうから出しています。

自治会の資金運用全体を3年ぐらい前に見直しまして、これからは安全・安心にもっとシフトしようということで、防犯と防災にたくさん金を使う、そのかわり行事などは少し減らすということで、総会でも反対意見もあったんですけど承認をもらいまして、いまは防犯と防災を中心に自治会の資金を使う方向へシフトしてきました。防災は今年からまた大々的に始めましたけど、そういったことで運用しております。したがって個人負担は時間だけです。駐車場は幸い自治会館がありますので、その一角を青パト専用駐車場としてボランティアで改造して使っております。